

令和3年度喜多方市社会福祉協議会業務執行状況

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

I 総務事業部門

1. 法人の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

【理事会】

令和3年 5月 1日 **【書面開催】**

- 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について
- 評議員選任・解任委員の選任について

令和3年 6月 8日 **※事業経過報告（会長・常務理事の業務執行状況報告）**

- 令和2年度事業報告について
- 令和2年度社会福祉事業会計収支決算について
- 令和3年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）（案）について
- 評議員候補者の推薦について
- 定時評議員会の開催について

令和3年 6月23日 ○会長、副会長及び常務理事の選定について

令和3年12月15日 **※事業経過報告（会長・常務理事の業務執行状況報告）**

- 車両・備品等更新準備積立金の取り崩しについて
- 令和3年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第2次＞（案）について
- 令和3年12月評議員会の開催について

令和4年 3月22日 **※事業経過報告（会長・常務理事の業務執行状況報告）**

- 令和3年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第3次＞（案）について
- 定款の変更について
- 事務局規程の一部改正について
- 令和4年度事業計画（案）について
- 令和4年度社会福祉事業会計収支予算（案）について
- 令和4年3月評議員会の開催について

【評議員会】

- 令和3年 6月23日 ※事業経過報告（会長の職務執行報告）
○令和2年度事業報告について
○令和2年度社会福祉事業会計収支決算について
○令和3年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）（案）
について
○理事の選任について
○監事の選任について
- 令和3年12月24日 ※事業経過報告（会長の職務執行報告）
○車両・備品等更新準備積立金の取り崩しについて
○令和3年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第2次＞
（案）について
○理事の選任について
- 令和4年 3月30日 ※事業経過報告（会長の職務執行報告）
○令和3年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第3次＞
（案）について
○定款の変更について
○事務局規程の一部改正について
○令和4年度事業計画（案）について
○令和4年度社会福祉事業会計収支予算（案）について

（2）監事会の開催並びに内部監査、会計指導の実施

【監事会】

- 令和3年 5月27日 ○令和2年度事業並びに社会福祉事業会計収支決算につい
ての監査
- 令和3年12月 7日 ○令和3年度上期事業並びに社会福祉事業会計についての
監査

【内部監査】

- 令和3年 5月18日、19日
令和3年11月29日、30日

【委嘱会計事務所による会計指導】

- 令和3年 5月 6日 ○令和2年度決算に係る会計指導
令和3年12月 2日 ○令和3年度上期決算に係る会計指導
※あおぞら税理士法人（郡山市）

(3) 評議員選任・解任委員会

令和3年 6月11日 **【書面開催】**

○評議員の選任について

(4) 苦情解決第三者委員会

任期満了（2年）に伴う委員委嘱を行った。

第三者委員 眞部久男（本会監事）

渡部要子（学識経験者）

星久美子（学識経験者）

令和4年 3月29日 ○令和3年度苦情受付・対応状況

(5) 役員及び評議員候補者推薦委員会

令和3年 5月12日 ○理事、監事、評議員推薦候補者の選定について

令和3年12月20日 **【書面開催】**

○理事推薦候補者の選任について

(6) 正副会長会議の開催

令和3年 6月 2日 ○理事会、評議員会提出議案の協議について

令和3年12月10日 ○理事会、評議員会提出議案の協議について

令和4年 3月17日 ○理事会、評議員会提出議案の協議について

(7) 役員・評議員に対する研修の充実

令和3年 7月14日 ○役員・評議員研修の開催

(8) 賛助会員の拡充

例年実施していた賛助会員増強月間（8月）は、新型コロナウイルス感染拡大による経済の低迷を考慮し個別対応に切り替え、個人会員及び取引先で未加入の企業等への勧誘等を行った。

個人会員数 230

企業等会員数 134

(9) 第17回喜多方市社会福祉大会の開催

福祉に携わる公私の機関、団体、市民の皆さんが一堂に会し、社会福祉に関する理解を深め、更なる充実に向けた啓発を図る機会とするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、感謝の意を表するため社会福祉大会を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染対策として、規模縮小、時間短縮を図った。

開催日 令和3年12月16日（木）

会 場 喜多方市総合福祉センター
 表 彰 社会福祉大会長表彰 6件、社会福祉大会長感謝13件
 中央共同募金会長感謝 1件
 県共同募金会長感謝（寄附）22件（奉仕）27件
 優秀作文 5点
 記念講演 「イタリアで暮らしていた住職のお話し」
 講師：浄土宗長泉寺住職 油谷 充 恩氏
 参加者 140名

(10) ふれあい社会福祉講座の開講

※新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し中止

(11) 『社協だより』の発行とホームページ・フェイスブックによる情報発信

①社協だより・・・社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など
総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付

発行：5月1日、8月1日、11月1日、2月1日

発行部数：18,500部

②情報発信ツールの利活用・・・本会の事業内容を幅広い市民層に周知するためホームページ及びフェイスブックを活用し情報発信した。

※ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>

※フェイスブックアドレスについては本会ホームページより参照

(12) 児童館の活動支援

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館等運営事業に、児童厚生員を配置しその運営支援に努めた。

登録状況（令和4年3月現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	備 考
中央	25	9	22	-	-	-	56	
松山	14	16	9	8	8	0	55	
上三宮	0	0	2	0	1	4	7	
岩月	6	5	3	5	2	1	22	
関柴	14	11	6	7	2	0	40	
熊倉	7	8	9	7	7	2	40	
慶徳	5	10	8	0	0	2	25	
豊川	6	12	5	7	3	1	34	

喜多方				17	6	1	116	二小	24名
	34	32	26					児童クラブ館	92名
しきみ				13	8	3	93	一小	24名
	23	43	3					N T T	69名
計	134	146	93	64	37	14	488		

※旧喜多方市内児童クラブ10館の運営について市から一部受託

(13) 介護職員養成・定着化事業（介護パワーアップ事業）

1) 介護職員初任者研修

地域における介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として介護初任者研修を実施した。

・夜コースのみ 令和3年7月27日～12月15日 受講者14名

2) キャリアアップ研修支援事業

市内施設勤務の介護職員等の初任者研修受講・実務者研修受講及び介護福祉士の資格取得を促進し、従業者の安定的雇用につなげるため研修費用を助成する。

※説明会の開催、説明会資料の郵送により市内介護事業所に周知を図っている。

支援実績：初任者研修受講費助成 9件

3) 介護職員就労定着奨励金事業

介護職として市内の同一事業所に1年以上就業した者に対し奨励金を支給した。

市内在住者（50,000円） 14名

市外在住者（30,000円） 5名

(14) 家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）

在宅で要介護状態の高齢者や障がい者を介護する家族の心身のリフレッシュを図り、明日への在宅介護の糧にさせていただくため家族介護者交流事業を実施した。

・日帰りリフレッシュ事業（令和3年10月16日）

参加者14名 行先：会津美里町、会津若松市方面

(15) 災害見舞金交付事業

火災等の災害被災者に対し、地域福祉の住民相互のたすけあいの趣旨に基づき見舞金を交付した。

住居全焼 4件

死亡 1名

(16) 健康事業所宣言と職員の健康維持向上の取組み

協会けんぽ福島支部との共催事業にて「健康事業所宣言」事業に参加し、今年

度のメインプランを「血压」対策とし、職員に対する啓蒙啓発や健康診断後の2次健診の受診勧奨と確認を行った。

(17) 職員の資質向上

県社協等が主催する外部研修会への積極的参加と、職制、職種に応じた内部のキャリアパス研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

2. 福祉施設の管理運営

(1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター	会館日数	305日	延利用者数	13,796名
多目的ホール	利用回数	192回	延利用者数	4,350名
2階会議室	利用回数	113回	延利用者数	1,482名

*新型コロナウイルス感染拡大による喜多方市公共施設の市外住民利用制限
(5/15~31、8/12~9/20)

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設(温泉入場者)	営業日数	300日	延利用者数	53,350名
運動施設(ゲートボール場)	利用日数	144日	延利用者数	1,580名

*新型コロナウイルス感染拡大による喜多方市公共施設の市外住民利用制限
(5/15~31、8/12~9/20)

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

市内で開催されたイベントでのパンフレット配布や、総合支所及び地区内の公民館にパンフレットを設置するなど誘客に努めた。

保養施設(温泉入場者)	営業日数	308日	延利用者数	31,586名
巡回福祉バス運行	運行日数	84日	延利用者数	923名

*新型コロナウイルス感染拡大による喜多方市公共施設の市外住民利用制限
(5/15~31、8/12~9/20)

(4) 生活支援ハウス事業(しゃくなげホーム・かたくり荘)

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

○山都生活支援ハウス 10 部屋 2 名入居（3 月末現在）

○高郷生活支援ハウス 7 部屋 0 名入居（3 月末現在）

（5）高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

会員登録者数 130 名 （※昨年度 134 名）

3. 介護保険事業

*** 別 掲 ***

本会介護事業では、介護保険法の趣旨に則り利用者や家族の行動によりサービス利用を制限することなく実施してきた。

II 地域福祉部門

1. 地域福祉事業

(1) 福祉活動支援金への理解と協力

地域福祉事業の活動財源となる福祉活動支援金の充実を図るため、行政区長会連合会並びに行政区に対して理解と協力を依頼した。

○福祉活動支援金実績額 6,364,882円(全272行政区)

(2) 地域福祉活動計画の推進

地域福祉の推進を図るために策定した地域福祉活動計画について、福祉関係者10名を委員として委嘱し、進行管理と評価に関することを所掌する推進委員会を開催した。

・令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面による開催

(3) おもちゃ図書館事業の推進

全ての子供達が、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供している。

本所	延利用人員 1,901名	開館日数 79日
熱塩加納支所	延利用人員 80名	開館日数 10日
塩川支所	延利用人員 244名	開館日数 29日
計	延利用人員 2,225名	開館日数 118日

*新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮した休止期間

令和3年8月1日～9月30日、令和4年2月1日～28日

・子育て支援事業

○子育てイベントの実施

おもちゃ図書館において、本所・支所ごとに季節のイベントを実施した。

- ・こいのぼり製作
- ・身体測定
- ・さつまいも植え
- ・たのしい人形劇
- ・ベビーマッサージ
- ・七夕製作
- ・水遊び
- ・お月見
- ・リズム遊び
- ・さつまいも堀り
- ・ハロウィン
- ・キッズ運動会
- ・クリスマス製作
- ・団子さし
- ・ひなまつり製作
- ・手形アート

○キッズスペースの設置

子どもや子育て中の保護者同士が、おもちゃ図書館開館以外の日でも遊べる場

所、交流できる場所として、総合福祉センター及び塩川いきいきセンター内にキッズスペースを設置した。

- ・本 所 日曜日～金曜日 9：00～16：30
延利用者数 723名
- ・塩川支所 火曜日～金曜日 9：00～16：00
延利用者数 88名

(4) 心配ごと相談事業の受付

日常生活で抱えている悩みや心配ごとの解決に向けて、相談受付支援を行った。

受付件数 25件

※地域包括支援センター、生活サポートセンター、各ケアプランセンターが受け付けた専門相談を除く。

(5) 日常生活自立支援事業

日々の生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が、地域で安心して暮らすために、福利サービスの利用に向けた相談援助や日常的な金銭管理等を支援し、権利擁護の推進を図った。

3月末契約件数 11件

支援回数 289回（時間：264時間）

(6) 成年後見制度・法人後見調査研究事業

成年後見制度利用促進に係る中核機関の受託に向けた検討

令和4年度から成年後見制度中核機関事業の受託を予定しており、今年度は事業実施のための準備として、関係機関との連絡調整や勉強会を開催した。

令和3年7月1日 喜多方市成年後見制度利用促進事業委託契約締結

- ・権利擁護支援の地域連携ネットワーク構築に係る勉強会 実施回数 5回
- ・相談支援機関が主催する事例検討会への出席 出席回数 2回
- ・リーフレット原案の作成
- ・権利擁護支援・成年後見制度の相談におけるフローチャート原案の作成
- ・関係帳票原案の作成

(7) 「ふれあいいいきサロン」の開設（39箇所）

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいいきサロン」の開設と運営を支援している。

松が丘いきいきサロン	喜多方	桜ガ丘いきいきサロン	喜多方
村松三区いきいきサロン	喜多方	清水台いきいきサロン	喜多方
関柴地区いきいきサロン	喜多方	東四ッ谷いきいきサロン	喜多方
ひばりが丘いきいきサロン	喜多方	上三宮二区いきいきサロン	喜多方

渋井いきいきサロン	喜多方	寺町いきいきサロン	喜多方
花園いきいきサロン	喜多方	譲屋いきいきサロン	喜多方
桜町ふれあいサロン	喜多方	菅原町ユーアイサロン	喜多方
幸町いきいきサロン	喜多方	栄町いきいきサロン	喜多方
上町いきいきサロン	喜多方	いなだいきいきサロン	喜多方
吉沢いきいきサロン	喜多方	いきいきサロンぬりもの町	喜多方
針生ひだまりサロン	熱塩加納	野辺沢いきいきサロンたんぼぼ	熱塩加納
半在家いきいきサロン	熱塩加納	柴城地区いきいきサロン	塩川
上窪地区いきいきサロン	塩川	別府いきいきサロン	塩川
塩川地区いきいきサロン	塩川	田中いきいきサロン※	塩川
竹屋いきいきサロン※	塩川	藤沢いきいきサロン	山都
広野いきいきサロン	山都	小布瀬原いきいきサロン	山都
ふなひいきいきサロン	山都	館原いきいきサロン	山都
千咲原いきいきサロン	山都	宮古いきいきサロン	山都
寺内いきいきサロン	山都	上林いきいきサロン	山都
西黄地区いきいきサロン	高郷		

※は今年度に設立されたサロン（2カ所）

(8) ミニサロン等交付事業

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築くいきがづくり事業や交流事業等に対して交付金を交付し、活動の支援を図った。

ミニサロン等事業 10箇所

交流事業 6箇所

(交付総額：168,000円)

(9) 高齢者生きがい対策事業（陶芸教室の開催）

塩川生きがいセンターを拠点に陶芸教室を開催し、高齢者のいきがづくりを支援した。

会員数 29名（延べ 532名） 活動日数 96日

(10) 福祉と介護の出張講座

喜多方市内の学校や公民館、福祉団体等の要請に応じ、福祉講座に関する職員の派遣を行った。

・第三中学校	令和3年	6月29日（火）	計	54名
・堂島公民館	令和3年	8月3日（火）	計	40名
・第三中学校	令和3年	9月6日（月）	計	54名
・岩月公民館	令和3年	9月9日（木）	計	5名
・豊川公民館	令和3年	9月30日（木）	計	9名
・松山公民館	令和3年	10月18日（月）	計	17名

- ・喜多方高等学校 令和3年10月25日(月)
26日(火)
27日(水)
28日(木) 計162名
 - ・第一小学校 令和3年12月8日(水) 計67名
- 合計408名

(11) 災害時における災害ボランティアセンターの運営

万が一の災害時における災害ボランティアセンターの円滑な設置運営のため、喜多方市並びに会津喜多方青年会議所と協定を締結している。

(12) 制服リユース事業

進学等で制服を必要としている世帯の把握など、先行して取り組んでいる既実施団体と意見交換を行い、連携を図った。

(13) みんなの「輪」フェスタ～喜多方災害ボランティアセンター～

＜ふれあいきたかた社協まつりの代替イベントとして企画＞
新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し中止

(14) ニュースポーツ体験事業

パラリンピックの開催により注目されているボッチャなどニュースポーツの体験を通し、世代間交流やノーマライゼーションの理解促進を図った。
令和3年11月27日 42名参加

(15) 支部社協事業の活動支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

(16) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- 1) 民生児童委員連合会 2) ふれあい福祉協議会 3) 老人クラブ連合会

- 4) 赤十字奉仕団 5) 日本赤十字社有功会 6) 手をつなぐ親の会
 7) 身体障がい者福祉会 8) 福島いのちの電話 9) 瓜生岩子刀自顕彰会
 10) 更生保護協議会 11) 遺族会連絡協議会

(17) 車椅子同乗車両貸出事業

常時車椅子を利用し、一般車両への乗降が困難な方の社会参加の促進と生活の利便性に資することを目的に、車椅子に乗ったまま乗車ができる車椅子同乗車両の貸出しを行った。

貸出件数 9件

(18) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の通院や家族旅行等、短期間の車椅子使用に対する支援として、車椅子の無料貸出しを行った。

貸出件数 37件

※本所 17件、熱塩加納支所 0件、塩川支所 11件、山都支所 2件、高郷支所 7件

2. ボランティアセンター事業

(1) 福祉ボランティアのコーディネート

地域の福祉ボランティアの活動拠点として、ボランティアやニーズの登録等の体制整備を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策のため当面の間、受付中止とした。

(2) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

・ボランティア協力指定校の指定

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校の指定及び活動を積極的に推進した。(市内小・中学校及び高等学校)

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、
 第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、
 慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、
 塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、
 高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、
 会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校
 喜多方高校、耶麻農業高校

(3) サマーショートボランティアスクールの実施

高齢者や妊婦等の様々な擬似体験により相手の立場を理解するとともに、ボランティア体験を通して、「福祉」や「ボランティア」について学んだ。その中で「気づき」や新しい自分を発見し「福祉の心」を育んだ。

本 所 参加者 高校生 10名
熱塩加納地区 参加者 中学生 10名 小学生 5名
塩川支所 参加者 中学生 19名
※他支所は参加者なし

○コミスクしおかわの開催

夏休み期間の塩川いきいきセンター休館日を利用し、小学生を対象に学習や交流の場の提供を目的としたコミスクしおかわを開催した。

小学生 12名参加

(4) 傾聴ボランティア事業

【養成講座の開講】

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し中止

【傾聴ボランティアのコーディネート】

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し中止

コロナ禍における活動状況や施設での受け入れ状況、課題や要望などの把握のため傾聴ボランティア登録者と受入施設にアンケート調査を実施した。

(5) 除雪ボランティア事業

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し中止

(6) 朗読・点訳ボランティア事業

①視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、広報きたかたをカセットテープに録音し、『声の広報』として希望者に郵送した。また、せきれいの会の他、ダイナム福島塩川店の協力により『物語』も朗読・録音し送付している。

・送付回数 年12回送付

・利用者 4名

・ボランティア登録者 7名

②点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

○毎月1回・会員数4名

(7) 福祉レクリエーションボランティア事業

【福祉レクリエーションボランティアのコーディネート】

市内のサロン及びミニサロン等を活動の場として、福祉レクリエーションボランティアのコーディネートを実施した。また、福祉レクリエーションボランティアスキルアップ研修として、新型コロナウイルス感染症対策のため資料を送付し、個別

に実施した。

ボランティア登録者数	7名（2グループ）
ボランティア活動回数	6回
スキルアップ研修回数	1回

(8) 子育て支援ボランティア事業

【子育てボランティアのコーディネート】

本会で実施しているおもちゃ図書館を活動の場として、子育てボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数	3名
ボランティア活動回数	11回

(9) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて』の発刊

市教育委員会及び市内のボランティア協力指定校の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った福祉作文集『ちいさなて vol. 16』を発刊した。

(10) 収集ボランティア（エコキャップ等）

・エコキャップの収集

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための活動を行った。

寄託を受けたエコキャップ 1, 703kg（ポリオワクチン換算851人分）

・不要入れ歯の収集

NPO法人日本入れ歯リサイクル協会が行っている、不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通して世界の子どもたちのために役立つ活動に協力した。

精製貴金属量 511g

(11) 寄付本による募金事業

家庭にある不要になった本などを寄付していただき、買取業者で換金し共同募金に寄付をする仕組みにより、社協や共同募金に対する理解促進を図った。

寄付物品数 3, 009点 募金実績 35, 885円

3. 生活支援体制整備事業

地域における支え合いのまちづくりを推進するため、地域の生活実態、ニーズの把握に努めるとともに、支え合いの仕組みを住民主体で話し合う場「生活支援支え合い会議」の設立及び運営支援に取り組んだ。

(1) 第2層生活支援コーディネーターによる地域支援

- ・地域ごとの生活実態、たすけあいの現状及び福祉に係る生活課題の把握に努めた。

項目	件数
訪問	541件
来所	144件
その他	275件
計	960件

(2) 第2層生活支援支え合い会議の設置及び運営支援

○新設に係る取組み

- ・関柴地区生活支援支え合い会議 令和3年7月26日設置
設立に向けた説明会及び準備会 8回
- ・慶徳地区生活支援支え合い会議 令和3年11月22日設置
設立に向けた説明会及び準備会 10回
- ・岩月地区生活支援支え合い会議 令和3年11月23日設置
設立に向けた説明会及び準備会 26回

○生活支援支え合い会議の運営支援（会議への出席）

熊倉地区	8回	上三宮地区	6回
熱塩加納地区	8回	関柴地区	4回
山都地区	3回	慶徳地区	2回
駒形地区	7回	岩月地区	1回
高郷地区	8回		

(3) 住民組織及び行政機関との連携及び支援

サロン等	回数 37回
機関・福祉団体等	回数 151回

4. 地域包括支援センター事業

高齢者の方々が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取り組むとともに、総合相談及び支援、権利擁護事業、ケアマネジメント支援を積極的に推進した。また、喜多方市高齢福祉課との連携を密にし、虐待や認知症等の困難ケースの対応を図った。

(1) 相談等の対応

相談・援助内容	相談件数 (延べ)	相談人数 (延べ)
① 介護予防支援事業に関する事	7, 516 件	2, 436 人
② 総合相談支援に関する事	4, 406 件	1, 451 人
③ 権利擁護事業に関する事	446 件	53 人
④ 包括的継続的支援に関する事	177 件	47 人
⑤ 実態調査	156 件	130 人
⑥ 苦情に関する事	11 件	5 人
合 計	12, 712 件	4, 122 人

(2) 介護予防等事業の実施

事業名	回数
介護予防事業（介護予防教室）、介護者教室等	15回
講師派遣、他団体への協力等	15回
街かど相談室	1回

(3) 喜多方市及び関係機関との連携及び協力

会議等名	回数
地域包括支援センター連絡会	8回
介護保険事業関連事業者連絡協議会	15回
グループホーム運営推進会議	14回
地域密着型特定施設運営推進会議	18回
各地区民生児童委員協議会定例会	132回
権利擁護担当者会議、虐待関連会議	13回
専門職員研修会、会議等への参加	44回
介護相談員定例会	1回

(4) 地域ケア会議（包括ケア会議・地域ケア会議）

高齢者個別のケースに対して、医療、介護等の多職種が協働して課題の解決を図るため、地域ケア会議を開催した。

開催回数 23回

(5) ケアマネ相談室

困難ケースや他機関との連携が必要な場合等、市内居宅介護支援事業所のケアマネが抱える悩み、要望などに寄り添い解決に導くためのサポートを行った。

相談件数 10回

(6) 介護予防支援計画

自立した日常生活を継続できるよう支援するため、介護予防のための健康増進を図り、また、介護が必要となった際の身体能力の維持・向上のため介護予防支援計画を作成した。

計画件数 6, 498件

(うち委託件数) 1, 501件

5. 生活サポートセンター事業（生活困窮者自立相談支援事業・家計改善支援事業）

生活困窮者自立支援制度に基づき、喜多方市委託事業として生活サポートセンターを設置し、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談及び就労支援に取り組むとともに、生活費の支払いや負債等の相談に応じ、健全な家計に向けての支援を行った。

(1) 生活困窮者に対する包括的相談支援事業

新規相談	162名
新規支援申込	138名
自立支援プラン 策定件数	34件
	家計再生プラン 10件
就労決定件数	20件
住居確保給付金決定	21件
総合支援資金(特例貸付)による申込登録	116件

※なお、プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応を図った。

(2) 支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、相談者の生活状況改善に向けて支援計画の検討や意見交換を行った。(コロナ禍における感染拡大防止観点の書面開催4回を含む)

開催回数 11回

(3) 就労体験事業

引きこもりや障がいなどから一般就労が難しい方々に対し、労働や他者とのコミュニケーションを図る機会として、また、生活リズムを整え一般就労に向けた契機とするため、本会が行う事業や市内施設での軽作業の場を提供した。

就労体験事業実績 : 7名(年15回実施、延べ26名参加)

体験内容 : フードバンク仕分け、米の袋詰め、封筒押印、

会場準備、施設の清掃 など

(4) 小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急な経済的問題を解決し、安定した生活が送れるよう資金を貸し付け、必要な援助指導を行った。

貸付件数 30件 (1,410,000円)

(5) 生活福祉資金（総合支援資金、緊急小口資金、福祉資金）の貸付

福島県社会福祉協議会の資金である生活福祉資金の申し込み窓口として、相談支援及び申込受付を行った。

貸付件数 10件 (5,269,000円)

(6) 生活福祉資金（新型コロナ特例貸付）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少がある世帯に対し、相談支援及び生活福祉資金（特例貸付）に係る申込受付を行った。

- ・緊急小口資金特例貸付（上限額20万円）

貸付件数 119件 (22,780,000円)

昨年度 212件 (38,750,000円)

- ・総合支援資金生活支援費特例貸付（単身世帯 月15万円以内、2人以上の世帯 月20万円以内を原則3か月以内）

貸付件数 248件 (131,550,000円)

昨年度 155件 (83,750,000円)

(7) 高額療養費貸付事業

高額療養費支払いに困窮する者に対し資金を貸し付け、その世帯の経済的自立を助長し、生活の安定を図った。

度貸付件数 2件 (1,110,645円)

(8) フードバンク事業

企業や団体、市民からの多くの協力をいただき、寄付いただいた食料品や日用品を生活困窮世帯等に提供した。

- 主な協力企業・団体

コープ東北サンネット事業連合、コープあいづ、(株)カーブスジャパン

(株)セブン-イレブン・ジャパン、ダイナムグループ、東洋羽毛北部販売(株)

- 提供実績 147世帯（延べ268回）

※うち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収のあった世帯へのフードBOX（食料・日用品の詰め合わせ）提供

4月（特例貸付利用世帯等） 44世帯

(9) 「こども食堂」への支援と連携

「こども食堂」（2箇所）、子どもの居場所「れんが」との情報の共有を図り、未就学児・児童等を抱える生活困窮世帯への支援につなげるためフードバンクを通じて食料品の提供を行った。

こども食堂（2箇所）等 延べ13回
子どもの居場所「れんが」 延べ 3回

6. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

(1) 避難をされている方への情報提供

大熊町をはじめ、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされている方に対し、喜多方市総合福祉センター2階に情報スペースを設置し、情報の提供に協力した。

7. 日本赤十字社への協力

(1) 人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業に対して社資募集に係る協力、災害時の救援物資の配分、献血事業推進や高齢者支援活動等への協力を行った。

○社資実績額 6,558,876円
目標達成率 90%
○災害時救援物資配分件数 3件

8. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に協力した。

○共同募金実績額 7,267,255円
○歳末たすけあい募金実績額 4,295,749円
○街頭募金の実施

共同募金運動のオープニングイベントとして市内スーパーの店頭をお借りし、街頭募金を実施した。

- ・COOP-BESTAひがし店 ・ヨークベニマル喜多方店 ・リオンドール喜多方西店 ・COOP-VALUE塩川店
- ・募金ボランティア参加者 中学生4名 高校生9名 計13名
- ※その他市内スーパー全店舗に募金箱を設置した。

○イベント募金

- ・ニュースポーツ体験事業 ・塩川町文化祭 ・たかさとまち文化祭 計3回

○その他の募金

市総合福祉センターへの募金ブースの設置

9. 災害義援金

全国各地で発生した自然災害による被災地の復興支援のため、災害義援金を募集し、日本赤十字社及び共同募金会を通じて義援金の協力を行った。

・令和3年2月福島県沖地震災害義援金	40,185円
・令和3年7月大雨災害静岡県義援金	87,666円
・令和3年7月大雨災害義援金	87,667円
・令和3年8月大雨災害義援金	10,112円
・令和3年台風第9号等大雨災害義援金	10,112円
・令和4年3月福島県沖地震災害義援金	55,000円

10. 海外救援金

海外で大規模な災害や紛争など緊急事態が発生した際に、被災地の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動を支援するための救援金について募集の協力を行った。

・2021年ハイチ地震救援金	20,000円
・トンガ大洋州噴火津波救援金	9,990円
・ウクライナ人道危機救援金	351,716円